

第3学年国語科学習指導案

日 時 平成18年10月3日(火)5校時

児 童 男子4名 女子4名 計8名

指導者 千葉 啓恵

1 単元名(教材名)

大事なことをたしかめよう(すがたをかえる大豆)

2 単元について

(1) 児童について

児童はこれまでに、説明的な文章を「読むこと」では、説明的文章の基本的な形式や事柄の順序、時間的な順序に気を付けて叙述に即して内容の大体を読み取る学習をしてきた。2年生の「サンゴの海の生きものたち」では、順序に気をつけて内容の大体を読むことでも、時間的な順序ではなく、ここでは、生きものの違いに応じた共生の方法を順序だてて説明した文章を読む学習をしている。また第3学年の「ありの行列」では、基本的な仮説検証型の文章を、順序を表す言葉に着目しながら、読み取る学習をしている。

本学級の児童は、音読に関しては、ある程度自分で読み通すことができる。文の主語や述語の読み分けについては、主語がはっきりとわかるように書いてある場合は読み取ることができるが、主語が省略されている場合は、自分の経験から主観的な答えを出すことが多く、文章に即して読み取る力が弱い。時間的な順序に関しては、時間の順序を表す言葉や記述の順序に着目しながら、筋道を立てて考えることができる。また、一つの言葉や文から、様子や訳をとらえることはできるが、文と文をつないで、そこに書かれている内容を関連付けて読み取ることは難しい。学習の様子では、分からないことが出てきた際、粘り強く考えたり、自分の考えを意欲的に表現したりすることが苦手の児童が多い。また、個別指導が必要な児童も1名いる。

(2) 主たる指導事項

「読むこと」における本単元の指導事項は、「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと。」「目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。」である。この単元では、順序の中でも事柄の順序を把握しながら、大豆を美味しく食べる工夫と、その説明という内容の大体を読み取ることになる。

そのためには、「次に」「また」「さらに」「これらのほかに」「このように」などといった段落をつなぐ役割を持つ言葉や段落相互の関係に注意しながら、大豆を美味しく食べる工夫を読み取ることが大切となる。

(3) 指導に当たって

教材文「すがたをかえる大豆」は、身の回りにあふれている大豆やその加工食品の加工方法を紹介している文章である。大豆の加工食品は見ただけでは大豆からできているとは思われないものも多く、児童が意外性をもって読み進めることができる内容であると言える。5つの美味しく食べるための工夫について、工夫と説明を読み分けながら、また、多くの食べ方が考えられた2つの理由や、先人の知恵に驚き、すばらしさに気づかせながら読み進めていきたい。

文章構成としては、初め、中、終わりの部分で構成され、段落構成や中心語句、中心文等が明確で、内容の読み取りや、中学年では指導しないが要約などの学習に適している。内容の読み取りについては、「工夫と説明の読み分け」「事柄の順序を表す言葉・接続語」「文末表現・繰り返し語句の表現の工夫」という三つの視点で読み取らせることを繰り返すことによって、視点をもった読み取りの力を身に付けさせたい。

また、本単元は、説明文の教材を読み取る学習と、教材文の内容を参考にして自分で調べたいものを選びそれに関する情報を集めて文章にまとめる学習から構成されている。単元後半の書く活動では、前半で学習した読みの視点や段落相互の関係を活用させながら、「読むこと」の力の定着を図っていきたい。

そこで、指導に当たっては、次のことに留意したい。

- ア 読みへの関心を高めるために実物の「大豆」や工夫して変身した「大豆」を用意する。また、図鑑や資料など大豆に関する情報を集め、児童に情報として提示するとともに、視覚的にも働きかけながら、教材文を読み取らせる。
- イ 授業や家庭学習などの場面で、様々な形態の音読に繰り返し取り組ませながら、声に出して読むことを楽しませる。
- ウ 「工夫と説明の順序に気をつけて読むこと」「事柄の順序を表す言葉・接続語に気をつけて読むこと」「文末表現に着目して読むこと」を繰り返すことで、これら読みの視点が自らのものとして身に付くようにする。
- エ 初め（話題提示）中（工夫の具体例と食品）終わり（まとめと感想）という意味段落のつながりがわかるよう、事柄の順序・段落を結ぶ接続語をもとに叙述に従って順序よく読み取らせる。
- オ 中心点や要点、筆者のものの見方、考え方について読み取る学習活動の展開を図る。
- カ 指示語や接続語・難しい言葉の意味や言葉の言い回しなどを、これからの自分の作文や、話す時の表現方法にも使っていけるよう、短文作りや宿題なども取り入れながら、言葉の指導も行う。
- キ 能力差や興味・関心の度合いの差にも配慮し、個に応じたプリントを作成する。また、机間巡視し、ヒントを提示し読みの視点をその都度確認しながら学習の支援と指導を行う。
- ク 書く活動や調べる学習、人に伝える活動を取り入れながらまとめる。

3 単元の目標

- (1) 国語への関心・意欲・態度
・身近な食べ物についての知識を得るとともに、興味を広げようとする。
- (2) 読むこと
・中心となる語や文、段落相互の関係に注意して文章を読み取ることができる。
- (3) 書くこと
・本での調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、分かり易くまとめることができる。

4 単元の評価規準（B）

- (1) 国語への関心・意欲・態度
・姿を変える大豆について、興味・関心をもって進んで読み、調べようとしている。
- (2) 読むこと
・大豆を美味しく食べる工夫や手を加える方法、加工された食品等の説明を文章中の「工夫」という言葉や指示語・接続語、文のつながりに着目し、注意しながら読み取っている。
- (3) 書くこと
・身近な食べ物について調べたことを、段落に分けて分かり易く書いている。

5 学習指導計画（18時間扱い）

段落	学習課題	学習活動（時間）	評価規準（B）
つ か む	・「すがたをかえる大豆」とはどんなことが書かれている文章だろう。	・新出漢字の読み書きを学習する。 ・題名からどんな内容を予想し、興味・関心をもつ。（1時間）	関 自分の生活をふり返り、進んで内容を予想している。 （ノート・発言）
	・大豆を使った食品にはどんなものがあるだろう。	・全文を読んで学習の見通しをもつ。 ・初めて知ったこと、面白いと思ったことなどについて話し合う。 ・「大豆を美味しく食べるくふうブック」作りをしていくことを知る。 ・9つの形式段落に分ける。 ・大豆を使った食品を線で囲み、写真と対応しながら見る。（1時間）	関 姿を変える大豆について興味をもって読もうとしている。 （発言・観察） 読 初めて知ったこと、面白いと思ったことなどを書いている。（ノート） 読 大豆を使った食品を線で囲んでいる。
	・大豆を、美味しく食べる	・筆者は何について伝えようとしている	読 筆者が何について伝えようと

<p>とらえ・ふかめる</p>	<p>ための工夫はなんだろう。</p> <p>・おいしく食べる工夫その1を読み取ろう。</p> <p>・おいしく食べる工夫その2、3を読み取ろう。</p> <p>・おいしく食べる工夫その4を読み取ろう。</p> <p>・おいしく食べる工夫その5を読み取ろう。</p> <p>・多くの食べ方が考えられた理由を読み取ろう。</p> <p>・小見出しを考えよう。</p>	<p>のかを考える。</p> <p>・学習課題を立てる。(1時間)</p> <p>・1つ目のおいしく食べる工夫、手の加え方の説明を読み取る。</p> <p>・読み取ったことを、段落ごとに「大豆をおいしく食べる工夫ブック」にまとめる。(1時間)</p> <p>・2つ目、3つ目のおいしく食べる工夫、手の加え方の説明を読み取る。</p> <p>・読み取ったことを「大豆をおいしく食べる工夫ブック」にまとめる。(1時間)</p> <p>・4つ目のおいしく食べる工夫、手の加え方の説明を読み取る。</p> <p>・読み取ったことを「大豆をおいしく食べる工夫ブック」にまとめる。(1時間：本時)</p> <p>・5つ目のおいしく食べる工夫、手の加え方の説明を読み取る。</p> <p>・読み取ったことを「大豆をおいしく食べる工夫ブック」にまとめる。(1時間)</p> <p>・多くの食べ方が考えられた2つの理由を読む。</p> <p>・全文を読み、全体を「初め」「中」「終わり」の3つに分ける。(1時間)</p> <p>・全体の小見出しを考える。(1時間)</p>	<p>しているのかをふまえた学習課題を考えている。</p> <p>読 豆まき用の豆・煮豆は、炒ったり、煮たりして柔らかくおいしくする工夫であることを読み取っている。(教科書ライン・発言)</p> <p>書 読み取ったことを落とさず、「大豆をおいしく食べる工夫ブック」にまとめている。</p> <p>読 きな粉・豆腐は、形を変え、大切な栄養を取り出して違う食品にする工夫であることを読み取っている。(教科書ライン・発言)</p> <p>書 読み取ったことを落とさずに「大豆をおいしく食べる工夫ブック」にまとめている。</p> <p>読 納豆・味噌・醤油は小さな生物の力で違う食品にする工夫であることを読み取っている。(教科書ライン・発言)</p> <p>書 読み取ったことを落とさず、「大豆をおいしく食べる工夫ブック」にまとめている。</p> <p>読 枝豆・もやしは、取り入れ時期や育て方を変えた工夫であることを読み取っている。(教科書ライン・発言)</p> <p>書 読み取ったことを落とさず、「大豆をおいしく食べる工夫ブック」にまとめている。</p> <p>読 大豆がたくさんの栄養を含んでいること、育て易いこと、という2つの理由を読み取っている。(教科書ライン・発言)</p> <p>読 接続語に注目しながら段落構成を読み取り、「初め・中・終わり」の3つの意味段落に分けている。(ワークシート・観察)</p> <p>書 まとまりを考えて小見出しを書いている。</p>
-----------------	--	---	--

つ か う	・読みの視点を使って問題に挑戦しよう。	・形成プリントに挑戦する。 ・自己評価し、読みの視点が的確であったかを振り返る。(1/2時間)	読 読みの視点を見つけ、内容を読み取っている。
	・食べ物を調べて、調べたことを本にまとめよう。	・「食べ物博士になろう」を読み、学習の見通しをもつ。(1/2時間)	関 意欲的に文章にまとめようとしている。(観察)
	・調べたい食べ物を決め、調べる計画を立てよう。	・調べたい食べ物を決め、学習計画を立てる。(1時間)	関 調べたい食べ物と調べる事柄を決め、計画を立てている。(ノート・プリント・観察)
	・本での調べ方を知り、本を使って調べよう。	・「本で調べる」を読み、本での調べ方を理解する。 ・調べたい食べ物について図書を選び、必要な事柄を「私の調べた食べ物カード」に書き出す。(3時間)	関 調べることに必要な本を探して読んでいる。(観察) 書 大事な事をカードに書いている。(カード)
	・調べたことを整理して、文章にまとめよう。	・カードを整理しながら、カードのまとめごとに文章を書く。(3時間) ・文章をまとめ、本を作る。 ・お互いに本を読み合う。(1時間)	関 カードを関連付けてまとめ、まとまりに分けようとしている。(カード・観察) 書 調べたことを段落に分けて書いている。(文章)

6、本時の指導

(1) 本時の仮説とのかかわり

説明的文章の学習課題において、子ども一人一人が、自らの読みの視点をもつことができる学習を工夫し、その定着を図るための振り返りを取り入れていけば、「読むこと」の力が高まるであろう。

本時は、おいしく食べるための工夫5つのうちの4つ目の工夫を読み取る学習をする。事柄の順序を表す言葉である接続語や指示語、文末表現に着目させながら、「小さな生物の力で違う食品にする」工夫と、どのような過程をたどって加工していくのかの説明を読み取らせていく。

この内容を読み取らせるため、前時までと同じように、「工夫と説明の読み分け」「事柄の順序を表す言葉・接続語」「文末表現・繰り返し語句の表現の工夫」という3つの読みの視点を活用して読み進めていきたい。また、「大豆をおいしく食べる工夫ブック」作りをするため、読み取った内容をプリントにまとめる活動を行い、視点を使った読みの確認と定着をはかりたい。

そこで本時では、次のような学習活動を設定した。

- ア 大事な言葉が抜いてある文章を、言葉を入れながら読むなど、視点をはっきりとさせた音読を取り入れる。
- イ 「工夫と説明の読み分け」「事柄の順序を表す言葉・接続語」「文末表現・繰り返し語句の表現の工夫」の3つの視点で読むことを繰り返す。
- ウ 学習で読み取ったことを確認するため、自力解決で書く活動を取り入れ、視点をもって読むことの定着を図る。

以上のように視点を持った読みを繰り返すことでその方法を身に付けさせ、実際にそれを使って書き直す活動を振り返りに入れることで、読みの視点を持つことのよさに気づかせていきたい。

(2) ねらい

小さな生物の力が、違う食品にする工夫を、叙述に沿って読み取る。

(3) 展開

段落	学習活動	時間	指導上の留意点・評価
つ か む	<p>1 学習場面（第 段落）を音読する。</p> <p>2 学習課題を把握する。 大豆を使った食品について、おいしく食べる工夫その4を読み取ろう。</p> <p>3 大豆に手を加える時の言葉の意味を確認する。 （蒸す・煮てつぶす・混ぜ合わせる等）</p> <p>4 読み取り方の方法を確認する。 ・工夫と説明が書いてあるところを見つける。 ・事柄の順序を表す言葉を見つける。 ・「・・・するくふうもあります。」の文末表現を探して読む。</p> <p>5 学習場面を音読する。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・今日学習するところの段落を確認する。 ・音読は全員起立し、バラバラに読むことで一人一人が必ず読むようにする。 ・学習課題に沿いながら、前時までに学習してきたことを想起させ、本時につなげる。 ・説明できる児童には発表してもらい、分からないものだけを国語辞典で調べる。 ・今まで学習してきた中で使った視点を読み取り方として思い出させる。 <p>・工夫と説明を読み分けるところを注意して、音読させる。</p>
ふ か め る	<p>6 大豆が何になるかを読み取る。 ・6段落 納豆・味噌・醤油</p> <p>7 第6段落から4つ目の工夫を読み取る。 ・工夫その4 さらに、目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にする工夫もあります。</p> <p>8 第6段落から4つ目の工夫の説明を読み取る。 ・4つ目の工夫の説明と食品 ナットウキンの力をかりたのが、納豆。蒸した大豆にナットウキンを加え、あたたかい場所に1日近く置いて作る。 コウジカビの力をかりたものが、味噌や醤油。味噌作りは、蒸した米か麦にコウジカビを混ぜ、塩と煮て潰した大豆を加え混ぜ合わせ、風通しが良く暗い所に半年から1年の間置いておく。醤油もよく似た作り方。</p>	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・以前に大豆を使った食品を線で囲んだことを想起させ、見つけさせる。 <p>・「さらに」という事柄を表す言葉・接続語や「・・・くふうもあります。」の文末表現に着目させながら読み取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人各自に読み取る活動をさせるために、工夫その4が書かれている教科書の箇所にラインを引かせる。 <p>評 読みの視点を落とさずに、工夫その4が書かれている箇所にラインを引いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆にどのように手を加え、どんな食品になるのかをしっかりとおさえ、叙述に沿って読み取っていくようにさせる。 ・各自に読み取る活動をさせるために、説明や食品が書かれている箇所にラインを引かせる。 ・味噌とよく似たつくり方をする醤油について、簡単に説明し、似た作り方の確認をし、想像させる。

<p style="text-align: center;">ま と め る</p>	<p>9 大豆を美味しく食べる工夫を「大豆を美味しく食べるブック」プリントにまとめる。</p> <p>10 まとめの音読をする。 ・学習で読み取った工夫や説明が、空欄になった文章を、声に出して全員で読む。</p>	<p style="text-align: center;">1 5 分</p>	<p>・読み取った工夫・説明を書いてまとめさせる。</p> <p>評 納豆・味噌・醤油は小さな生物の力で違う食品にする工夫であることを、事柄を表す言葉・接続語、文末表現に着目しながら、工夫と説明を叙述に沿って読み取り、記述している。</p> <p>・書き込み、穴埋めプリントと、書き込む文字数を示したり書き込む箇所を少なくしたプリントを用意し、個人差に対応できるようにする。</p> <p>・机間巡視し、ヒントを提示したり読みの視点を確認したりしながら学習の支援を行う。</p> <p>・皆で読むことを意識させ、気持ちや声を合わせて読むように気をつけさせる。</p>
--	--	--	---

(具体の評価規準)

- A 納豆・味噌・醤油は、小さな生物の力で違う食品にする工夫であることを、事柄を表す言葉・接続語、文末表現に着目しながら、工夫と説明を分けて叙述に沿って読み取り、詳しく工夫と説明を分けて書いている。
- B 納豆・味噌・醤油は、小さな生物の力で違う食品にする工夫であることを、事柄を表す言葉・接続語、文末表現に着目しながら、工夫と説明を叙述に沿って読み取り、工夫と説明を分けて書いている。

努力を要すると判断された児童への具体的な手立て

書き込む文字数が示してあったり、書き込む箇所を少なくしたプリントを使わせ、教科書の文章を教師と一緒に確認していく。説明とそれに合う絵を結ぶ活動を中心に行わせ、まとめる。

7、板書計画

すがたをかえる大豆

大豆を使った食品についておいしく食べる工夫その4を読み取る。

- ・むす・・・じょう気で物を熱する。ふかすともいう。
 - ・まぜた・・・いっしょにする。一つにする。
 - ・まぜ合わせた・・・まぜる+合わせる
- さらに

キーワード ーするくふうもあります。

今日のくふう

目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう

もあります。

・どんな力

ナットウキンの力。コウジカビの力。

・つくり方

大豆をむす。

ナットウキン入れる。

あたたかい場所に一日近く置く。

なつとう

むした米か麦にコウジカビをまぜる。

塩を入れる。

にてつぶした大豆をまぜる。

風通しのよい暗い所に半年から一年おいておく。

みそ・しょうゆ

さらに、目に見えない

の力をかりて、

もあります。ナットウキンの力をかりたのが、

です。むし

た大豆にナットウキンをくわえ、あたたかい場所に一日近くおいて作り

ます。コウジカビの力をかりたものが、

や

るには、

です。みそを作

それと、しおを、にてつぶした大豆にくわえてまぜ合わせます。ふたを

して、風通しのよい暗い所に半年から一年の間おいておくと、大豆はみ

そになります。しょうゆも、よくにた作り方をします。

終わり		中					初め		段落構成
まとめ		工夫 5	工夫 4	工夫 3	工夫 2	工夫 1	話題提示		文章構成
									段落
人食 々事大 のに豆 知取の 恵りよ に入さ に驚れ いたづ 。昔き の、	方やで がすや味 考いせが えたたよ らめ土く れ、に、 た。多強 。の、 食育豊 べて富	もにで入 や水きれ柔 しを、種 がかけ日 でける。育 て当枝に るて豆取 とずがり	噌生 、物目 醬のに 油力見 がで、な ける。納 。豆小 やさ 味な	るてにり 。固搾つ水 めつぶを るてし含 とに出、ん 豆がただ 腐り汁大 がをを豆 で入さを きれらす	く と大 、豆 きを ない粉 つて粉 になる。 に ひ	豆た 、りそ 煮、の 豆煮の にたり なる。す 。ると いい りつ	食る消硬 べ手化い大 るをもの豆 工加悪では 夫えい、 をての食ダ して美、に いて味いく 。く、の	のいん でど米 気が毎・ づ、姿日 をかを大 れない。豆 。て食、 いべほ るてと	要 点
かづ さき大 れ、豆 る昔の 。のよ 人い のと 知こ 恵る にに 驚気	植こ地るさ肉 えとに。んと大 らかもその言豆 れら強の栄わが た、くう養るも 。多、えをくよ く育、含らく ので瘦せんい、 地やせんでた畑 域すたでいくの でい土いくの	方 を取 くり ふ入 うれ る 時 期 や 育 て	違コ物 うウの目 食ジ力に 品力へ見 にピナえ すツな るをト い くかウ小 ぶりキサ うてンな 。、生	ニりし 違栄 ガ出るすう養大 りし・り食だ豆 。水つ品けに かをぶにを た加すす取ま めえ・るりれ る熱白く出る たしつぶし大 め・ぼうて切 に縛い。な	う 。粉 に ひ い て 食 べ る く ふ	ふらつ うかた大 。くり豆 、を 美煮そ 味たの しり形 くしの すてま る、ま く柔い	るをく豆 く加そな食。私 ふえのいべた うてた。にち 。、めくが お、く知 いい、つ しろ消て くい化い 食るもる べ手よ大	づてる日 かいい口多 れるるにく なこなしの いと食て人 。が品いが 多にるほ い姿もと のをのん で変。ど 気えい毎	重 要 語 句
く され ます 。	りたそくこ まめのまの す。でう。よ もえ う あ、に	す方かこ 。もにれ あ、ら り食の まべほ	すそまふさ 。れすうら と もに く あく まりく	くこそすうま まうの。もた す。すあく るす りく と。まふ	すう次 。がに あく りく まふ	くのかい ふはりち うくやば すすすん 。るいわ	しそすこ ての。れ いたが す。めく 。くで	すそ 。れ は く で	文 末 表 現 指 示 語 接 続 語

文章構成

初め 話題提示

ほとんど毎日食べている大豆。
大豆の基礎知識。

中 具体的工夫1と説明

そのままの形を残し、炒ったり、煮たりする工夫。
(豆まきに使う豆・煮豆・おせちの黒豆)

具体的工夫2と説明

粉に挽いて食べる工夫。
(きな粉)

具体的工夫3と説明

栄養だけを取り出して、違う食品にする工夫。
(豆腐)

具体的工夫4と説明

小さな生物の力で違う食品にする工夫。
(納豆・味噌・醤油)

具体的工夫5と説明

取り入れ時期や育て方を変えて食べる工夫。
(枝豆・もやし)

終わり まとめ

多くの食べ方が考えられた理由。
筆者の感想。(先人の知恵への驚き)

